

病院や施設の機能について



〈外来診療〉



〈往診・訪問診療〉

〈一般病床〉

急性期治療(救急の治療)が必要な間、短期の入院加療を行います。入院期間は治療の必要性に応じて医師が判断します。



〈緩和ケア病棟〉

がんに対する積極的治療は行いませんが、がん患者さんの痛み等を緩和します。

〈地域包括ケア病棟〉

急性期治療後や在宅・施設で病状悪化した患者さんに60日間を限度に治療及びリハビリ等を行い在宅復帰を目指します。

〈回復期リハビリテーション病床〉

脳卒中や骨折の手術後など、決められたご病気やけがで、発症又は術後1~2か月以内の方を対象としています。専門のスタッフにより積極的にリハビリを行い、在宅復帰を目指します。



〈介護老人保健施設〉

病状が安定し入院治療の必要がなくなり、介護を必要とする方を対象に、家庭生活への復帰を支援するための施設です。在宅復帰のための訓練を受けることができます。入所期間中は、保険の関係上、医療機関への定期的な通院が困難です。提供できる薬や医療行為に限度があります。



〈医療療養病床〉

医療保険を使って入院する病床です。急性期の治療が終了し継続して医療と療養が必要な方が、長期にわたり入院するための病床です。入院期間は病院によって異なります。患者さんの状態により分けられており、軽度の方の入院は困難です。
※認知症を対象とした精神科の病床もあります。



〈介護療養型医療施設・介護医療院〉

介護保険を使って入院する病床です。要介護度の高い重度の方を対象としている病院が多く、医療よりも介護中心の方が長期にわたり入院するための病床です。入院期間は病院によって異なります。
※認知症を対象とした精神科の病床もあります。



●病院・施設への相談の手順●

- ①患者さんの状態を把握する(病名・必要な医療行為・体の動きなど)。
- ②病院・施設に電話をかけ、転入院・入所についての相談をする。
・患者さんの状態等を伝え、転入院・入所が可能か、どのような手順で進めるとよいかを問い合わせる(利用期間・月額費用・待機期間・担当者の名前・その他)。
- ③受け入れの可能性のある病院・施設へ、それぞれの相談手順に従い、必要に応じて書類を整えて相談を進める。

